

土砂災害から身を守るために、「日頃の備え」と「早めの避難」を心がけましょう！

①土砂災害危険箇所や避難場所等を確認しておきましょう！

あなたがお住まいの地区の土砂災害危険箇所や避難場所等は、表面の地図に掲載されています。よく確認しておきましょう。その他の地区については、室蘭建設管理部または壮警町までご連絡ください。

②雨が強くなってきたら、積極的に雨量情報、予報、警報等の情報を入手しましょう！

○まずはテレビやラジオ等で気象情報を確認しましょう。
○雨が強くなってきたら、電話やインターネットでも確認しましょう。

■インターネットによるサービス

①北海道防災情報ホームページ

[http://www2.bousai-hokkaido.jp/pc/\(3gwm5f45lw2zxo2gf4iems55\)/index.aspx](http://www2.bousai-hokkaido.jp/pc/(3gwm5f45lw2zxo2gf4iems55)/index.aspx)

②気象庁ホームページ <http://www.ima.go.jp/ima>

■携帯電話によるサービス

①北海道防災情報ホームページ <http://www2.bousai-hokkaido.jp/mobile>

③前兆現象を見つけたら、直ちに役場、消防署などに連絡しましょう！

■連絡先

- ・壮警町役場総務課 0142-66-2121
- ・西胆振消防組合壮警支署 119番通報または 0142-66-2119
- ・伊達警察署 110番通報または 0142-22-0110
- 壮警駐在所 0142-66-2110
- 久保内駐在所 0142-65-2374



山鳴りがする



雨が降り続けているのに川の水位が下がる



川の流れが濁り流木が混ざりはじめる



小石がバラバラ落ちてくる



地面にひび割れができる



斜面から水がぶき出す

雨の強さと災害の発生状況

1時間雨量	人が受けるイメージ	発生状況
10~20mm	ザーザー降る。	長く降るときは注意が必要。
20~30mm	どしゃ降り。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模ながけ崩れが始まる。
30~50mm	バケツをひっくり返したように降る。	山崩れ、がけ崩れが、起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。
50~80mm	滝のように降る。	都市部では地下室や地下街に濁水が流れ込む場合がある。土石流が起りやすい。多くの災害が発生する。
80mm以上	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。	雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、嚴重な警戒が必要。

④避難勧告などの連絡があったら直ちに避難しましょう！

土砂災害から身を守るためには、安全な場所への避難が必要です。避難勧告が出たら、ただちに避難してください。なお、土砂災害警戒情報が発令された場合には、土砂災害警戒区域内にお住まいの方は大至急避難してください。

- 避難準備情報が出たら・・・
避難に時間のかかる人（災害時要援護者）は避難を開始してください。
その他の人は家族等との連絡、非常用持出品の用意等、避難準備を開始してください。
- 避難勧告が出たら・・・
指示された避難場所等へ避難行動を開始してください。
- 避難指示が出たら・・・
避難していない場合は、避難行動に移るとともに、避難場所への避難が困難な場合には、周囲の建物より比較的高い建物（鉄筋コンクリート等の堅固な建物）の2階以上（斜面と反対側の部屋）に避難するなど、生命を守る最低限の行動をしてください。
- 家族と連絡がとれない時は・・・
NTT災害用伝言ダイヤルの活用（忘れてイナイ）
メッセージの録音：市外局番+171+1+自分の家の番号
メッセージの再生：市外局番+171+2+自分の家の番号
※携帯電話からもかかります。

避難時の携行物 ふだんから非常持出品を準備しておきましょう。

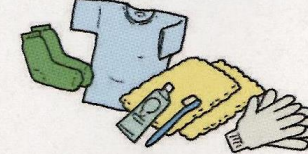
救急セット

傷薬、胃腸薬、目薬、脱脂綿、包帯、ばんそうこうなど



衣類

下着、タオル、軍手など



安全具

ヘルメットなどの保安帽



非常持ち出し袋

食料品

乾パン、缶詰、インスタント食品など



貴重品

現金、貯金通帳、キャッシュカード、印鑑、有価証券など



その他

ラジオ、懐中電灯、電池、マッチ、ひも、ナイフ、缶切り、ビニール袋など



懐中電灯

動きやすい服装

水筒

ラジオ

- 赤ちゃんのために…ミルク、ほ乳ビン、おむつなど
- 老人、身体の不自由な方のために…おぶりひも、常備薬、おむつ、担架など
- その他必要なものを日頃からメモして、用意しておきましょう。